ちよだ chiyodayori より

千代田地区生活支援体制整備推進協議会
2022.06　No.01

稲沢市生活支援体制整備事業

千代田生活支援体制整備推進協議会【2021.10.13 話し合いの様子】

誰もが住み慣れた場所で自分らしく暮らし続けるための地域づくりについて、千代田市民センター地区で話し合いが始まっています！！

少子高齢化が進む中、複雑多様化した地域課題に加え、コロナ禍によるつながりの途絶が進み、多くのかたが生きづらさを感じる昨今となりました。「そんな中だからこそ、ささえあう地域づくりが大切だ！」と、住民同士のつながりづくりについて話し合う場「生活支援体制推進協議会（以下「協議会」）」が２支所・７市民センター地区に設置されています。

今後、このたよりを通して地域の皆様に活動の様子などをお届けします。

協議会での話し合いのイメージ

課題に気付く

【地域にある問題】
- ◆コロナ禍で人と関わる機会が無い
- ◆買い物やゴミ出しが大変
- ◆段々と物忘れが増えてきた
- ◆近所に心配な家庭がある　など

➡これらの問題は見過ごされがち…

資源を知る

【社会参加につながる地域資源】
- ◆趣味や健康づくりの活動
- ◆企業・社会福祉法人・お寺などの団体
- ◆老人クラブ・子ども会・まちづくり推進協議会・民生委員・サロン活動　など

➡個人のちょっとした手助けも立派な資源

協議会で話し合う

【ささえあう地域づくりに向けた話し合い】
- ◆ボランティア・地元団体・まちづくりなど、地域の様々なかたが参加し、ささえあう地域づくりについて情報共有し、課題に対して解決に向けたアイデアを出し合っています。

その結果…

繋げる

【活動の活性化】
- ◆稲沢市社会福祉協議会の生活支援コーディネーターがネットワークを活かし、地域のつながりづくりやささえあい活動に必要な情報や資源や人をつなげ、協議会をサポートしています。

活動が生まれる

【地域の力で課題を解決】
- ◆すぐには解決できないことでも、出来ることから取り組むことが重要です。

例）課題：高齢になり買い物が困難
- ➡地域で話し合う場を呼びかける
- ➡住民による需要調査に協力
- ➡企業の移動販売事業をつなぐ
- ➡住民により移動販売車を誘致　など

お宝発見！
－01－

千代田地域のお宝活動File（ふぁいる）

「移動スーパー」でつながりを作る梅須賀町

※地域のつながりやささえあいを生み出す活動を「お宝」と表現して紹介します。

◆地域住民が主体的に話し合い、買い物支援の仕組みづくり！

稲沢市梅須賀町では、令和３年 10 月に社会福祉協議会協力の下、アンケートを用いて買い物に関する課題を調査したところ、多くのかたが将来の買い物に不安を感じている事が分かりました。そこで同地区の住民を代表するかたがた（コアメンバー）が何度も協議を重ね、課題に向き合い解決方法を模索した結果、「移動スーパー」を地域の中心的な立地にある教西寺（きょうさいじ）前に誘致することが決定され、令和４年３月から買い物支援の仕組みが一つ誕生しました。

地元の声を取材しました！

- 普段会わない住民同士が交流する機会になった。
- 安否確認になるし、情報交換できて良い。
- 10 年後は心配だから、この取り組みを残したい。
- アンケートで地域の状況を知ることが出来た。
- 話し合いを機に、地域との関りの大切さを知った。
- お寺の掲示板で、移動スーパーのお休みや、地域の情報を発信することになり、お寺の重要性も再認識されている。　など

梅須賀町コアメンバーの方々と誘致した移動スーパー関係者

「移動スーパー」での買い物の様子

◆ここがポイント！

買い物先が無いという地域課題に対し、自治会・老人クラブ・民生委員など、地域を代表する方々が主体的に話し合ったことや、アンケートで住民の意向を確認した点など、丁寧に取り組まれたことが伺えます。

移動スーパーを地域で誘致したことで、買い物が便利になっただけでなく、地域住民の横の繋がりを生み出す結果になったことが素敵ですね！

稲沢市社会福祉協議会マスコットキャラクター「福ちゃん」

※本紙について

- 千代田市民センター地区内で取り組まれる、ささえあい活動に関する話し合いが開かれた様子などを皆さんへお届けする情報紙です。
- 地域内でのさまざまな取り組み・活動など、皆さまからの情報提供をお待ちしております！
- 情報紙の作成費用は、稲沢市社会福祉協議会の会員会費を財源とさせていただいております。

問合先　社会福祉法人稲沢市社会福祉協議会　地域福祉グループ　担当：鷲見（すみ）
稲沢市稲府町１番地　稲沢市役所東庁舎１階　（代表番号）0587-23-6713